



校区社会福祉協議会って、知ってる？



Q

校区社会福祉協議会とは、どんな団体ですか？

A

地域の住民が主体となって、福祉活動を行う団体です。町内会や自治会と連携しながら、高齢者や障がい者、子育て世代など、地域の誰もが安心して暮らせるように支援することを目的としています。



Q

どんな活動をしているの？

A

高齢者の見守り活動、子育てサロンや高齢者サロンなどの交流会の開催、敬老のつどいの開催などを行っています。



Q

どうやって運営されているの？

A

地域住民のボランティアによって運営されており、自治会や民生委員、福祉施設などと連携しています。市町村の社会福祉協議会ともつながっていて、支援や助言を受けながら活動しています。



実際の活動について

秋津校区社会福祉協議会 福田聖司会長にお話を伺いました。福田さんは、退職後、秋津1町内自治会長と校区社会福祉協議会役員を兼任され、その後校区社協の会長に就任されました。約15年の間、秋津校区の社会福祉事業に携わってこられた福田さんに、校区社協の活動についてお話を伺っていますので、ちょっとのぞいてみましょう。

秋津校区社会福祉協議会



会長 福田 聖司さん

秋津校区社会福祉協議会の主な活動は？



こどもから高齢者まで住みよい地域にするために、活動しています。
例年9月に敬老のつどいを秋津公民館で開催します。長寿の方へのお祝いや、余興の準備など役員一丸となって進めています。
また、毎年秋津小学校の新入生には、防災頭巾を提供しており、今年は校区社協主催のこども食堂「あきつかフェ」を初めて開催します。

社会福祉協議会で活動をしていて、良かったことは？

社協で活動をするようになってから、13年になります。
人とふれあい、地域のつながりができていくことが良かったな～と感じています。熊本地震も経験しましたが、災害が起こったことにより、ますます地域のつながりが強固になった気がします。

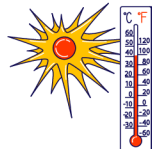


今後、秋津校区がどんな地域になってほしいですか？



秋津地域は、昔から自然豊かな地域です。私がこどもの時は川で遊んだり、自然とともに成長してきました。その自然豊かな地「秋津」を、こどもから高齢者まで多世代交流ができ、誰もが笑顔で過ごせる地域にしていきたいですね。

熱中症にご注意！



暑い日が続き、熱中症になる方も増えています。
総務省消防庁によると、令和7年6月30日～7月6日までの熱中症による救急搬送者数は、熊本県で246人です。
その半数以上が高齢者の方となっています。

熱中症対策として、日ごろから次のことに気をつけましょう。

- ・こまめな水分補給
- ・暑さを避ける
(室内ではエアコンを使用。外では日傘や帽子的着用を。)
- ・炎天下での作業はこまめに休憩を。
- ・高齢者やこどもの体調を周囲が気にかける

ご存知ですか？クーリングシェルター

熊本市では、危険な暑さから身を守るために暑さをしのぐ場所として、市の施設を指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として開放しています。
ぜひ、ご利用ください。(休館日を除く)

熱中症による救急搬送者数（熊本県内）
(令和7年6月30日～7月6日まで)



東区の主なクーリングシェルター

- ・秋津まちづくりセンター
- ・東部まちづくりセンター
- ・東部公民館
- ・託麻まちづくりセンター
- ・健軍文化ホール
- ・東区役所 など